



 2025年度 核融合科学研究所スクーリング・ネットワーキング事業

Fusion Design 2025

電磁解析のハンズオンを通じて、
フュージョンデバイス設計の視点を学ぶ

開校式

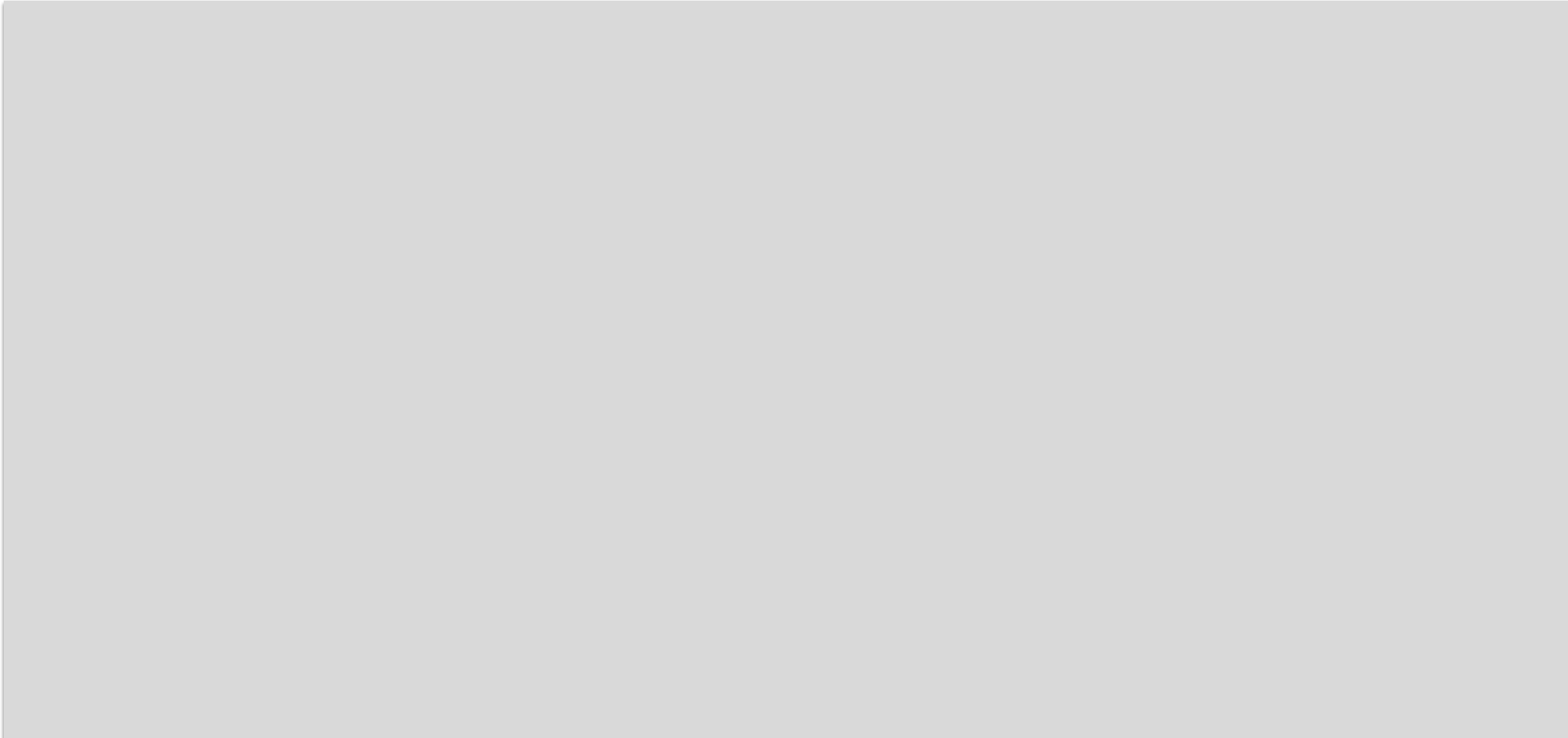
抜粋版

趣旨説明

- ◆ フュージョンデバイス設計の視点（勘所）を学ぶ
他分野でも活用されている電磁解析のハンズオンを通じて、解析による設計ができる人材を育成すること。
- ◆ 単なる操作講習にとどまらない参加者の解析スキルの向上
実務に近い課題で、まずは一連の工程をやり切り、解析の全体像を体で理解する。その経験を起点に手法の改善や選択肢の拡張へ進み、自分の解析プロセスを鍛える。
- ◆ CAE (Computer Aided Engineering) コミュニティの形成
相談相手が限られがちな解析領域において、技術者同士が悩みと知見を共有できるつながりを育てる。スクールで生まれる交流と情報交換を、個々の業務とプロジェクトの質向上へつなげる。

このスクールは、講師も皆さんとともに学び、考えを深める場です。気になったことや疑問は遠慮なく投げかけてください。一緒に考え、手を動かしながら答えを探していきましょう。

ANSYSのご紹介



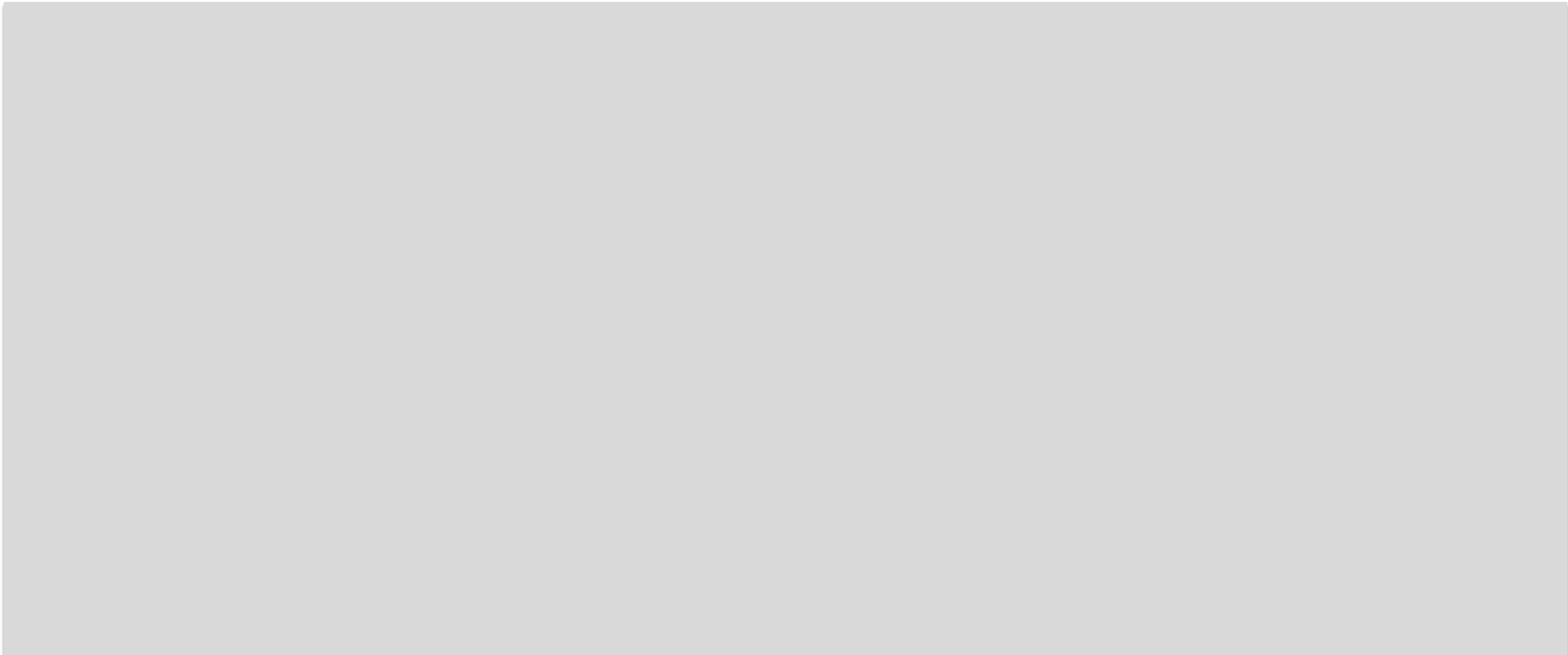
ANSYSを用いた電磁解析の大きな流れ

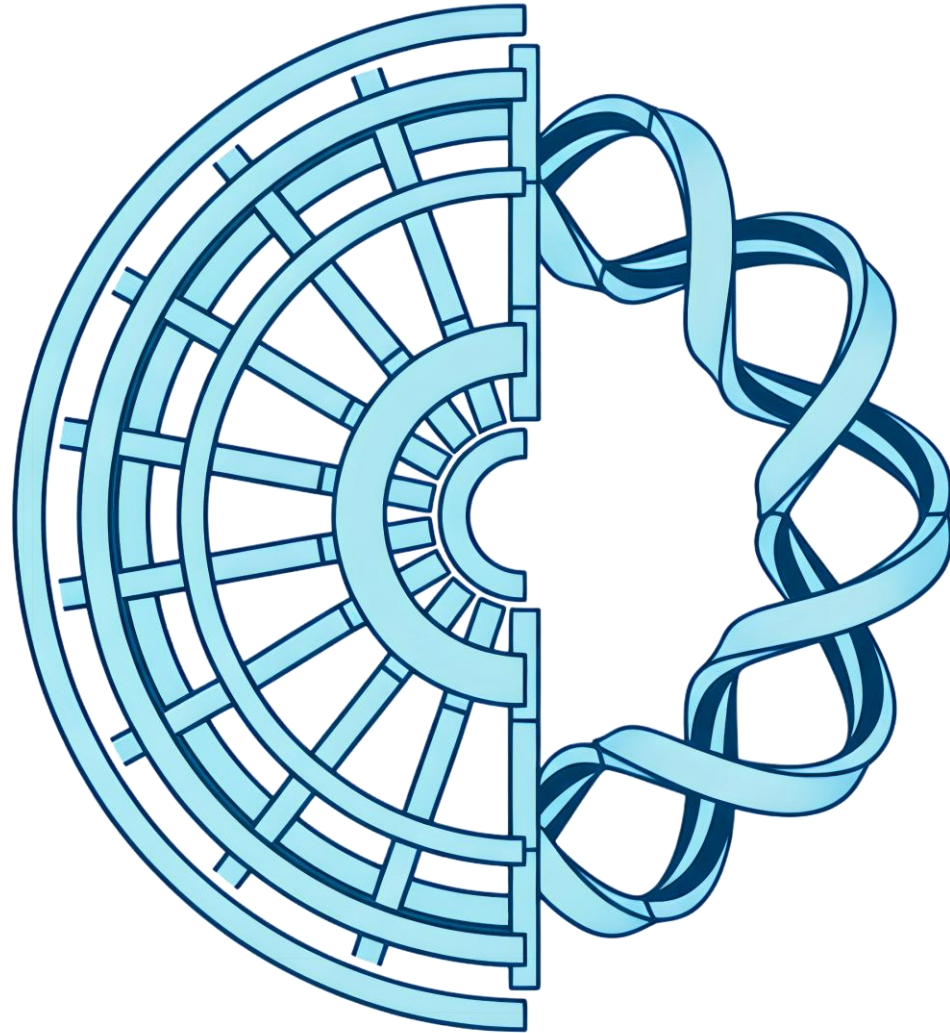
CAD (CATIAなど)
製品形状データを作成

SpaceClaim / Discovery
解析用に形状を簡略化

Electronics Desktop / Maxwell
磁場・電磁力を計算

Mechanical
応力・変形を確認





FUSION DESIGN

ELECTROMAGNETIC ANALYSIS SEMINAR 2025